

肺運動負荷モニタリングシステム CPX

平成25年度北網地域医療再生計画 （特設講座事業）

北網地域医療再生計画に基づき、北網地域の医療を充実を図り、医育大学に設置する特別講座と北見赤十字病院が連携し、地域医療を担う医師に対する医学知識の刷新及び再研修方法の研究、地域基幹病院における後期研修方法の研究、地域の医療機関への医師派遣並びに専門（認定）看護師及び専門分野に対応できる理学療法士等を養成する目的として平成25年度北網地域医療再生事業費補助金の交付を受け整備を行いました。



以下に装置の簡単な特徴を記します。

心臓リハビリテーション/呼吸リハビリテーション
・運動負荷量の決定のために

運動負荷量の決定のために、運動負荷量は、薬と同じで適正な量を処方する必要があります。多すぎでは危険、少なければ十分な効果が得られません。当装置では、心肺運動負荷試験（CPX）を行うことにより各個人に合った運動負荷量を求めることができます。

負荷制御機能	自転車エルゴメータまたはトレッドミルを接続して、負荷装置として制御することができます。漸増運動負荷、一定運動負荷をはじめとする代表的な負荷プロトコルに加えて、任意のパターンで負荷プロトコルを多数設定することができますので、あらゆる用途への対応が可能です。
--------	---

データ ベース機 能	ID情報の管理にデータベース機能を用いることにより、測定データの管理が容易になりました。過去の測定履歴からトレンドグラフ、数値一覧を作成できます。
解析機能	心肺運動負荷テストにおける様々なパラメータの解析が可能です。特にanaerobic threshold (AT)point 解析、respiratory compensation (RC)point 解析、kinetics 解析には専用のツールを用意しましたので、簡単な操作で解析作業をすることができます。
レポート	標準的な心肺運動負荷レポートに、様々なパラメータや比較用の基準値を任意に選んで組み合わせることにより、目的に応じたレポートを簡単に作成できます。そのほか、回帰解析や時系列データなど、解析機能に応じたレポートも利用可能です。